

みずほCustomer Desk Report 2021/10/08 号(As of 2021/10/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.38
TKY 9:00AM	111.41	1.1556	128.76	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.65	1.1572	128.99	1.3595	0.7283
SYD-NY Low	111.23	1.1548	128.66	1.3638	0.7324
NY 5:00 PM	111.64	1.1554	128.92	1.3571	0.7269
				1.3615	0.7313
NY DOW	34,754.94	337.95	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	14,654.02	152.11	日本10年債	0.0700	▲1.00bp
S&P	4,399.76	36.21	米国2年債	0.3085	1.20bp
日経平均	27,678.21	149.34	米国5年債	1.0243	3.73bp
TOPIX	1,939.62	▲ 2.29	米国10年債	1.5756	4.89bp
シカゴ日経先物	28,075.00	310.00	独10年債	-0.1880	▲0.50bp
ロンドンFT	7,078.04	82.17	英10年債	1.0780	0.90bp
DAX	15,250.86	277.53	豪10年債	1.5880	1.10bp
ハンセン指数	24,701.73	735.24	USDJPY 1M Vol	5.76	▲0.22%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.81	▲0.15%
NY金	1,759.20	▲ 2.60	USDJPY 6M Vol	6.12	▲0.04%
WTI	78.30	0.87	USDJPY 1M 25RR	-0.23	Yen Call Over
CRB指数	234.337	2.11	EURJPY 3M Vol	6.01	▲0.19%
ドルインデックス	94.22	▲ 0.05	EURJPY 6M Vol	6.35	▲0.13%

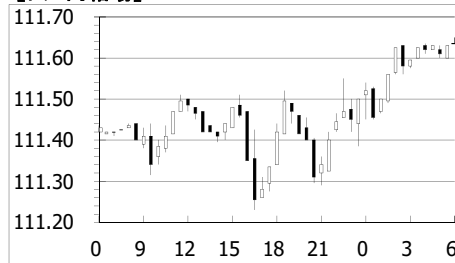
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月7日	14:00	日 景気一致指数・速報	8月 91.5	91.5
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	8月 -4.0%	-0.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	2-Oct 326k	348k

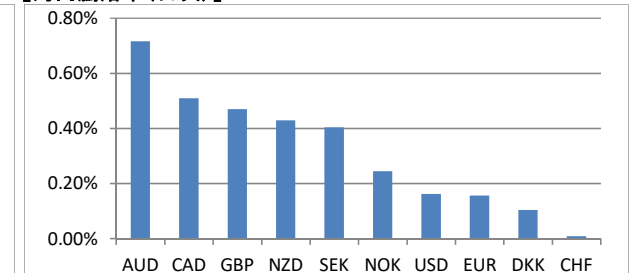
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月8日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	9月 500k	235k
	21:30	米 失業率	9月 5.1%	5.2%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	9月 0.4%/4.6%	0.6%/4.3%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	8月 1.2%	1.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20-112.10	1.1520-1.1620	128.60-129.40

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は小幅に上昇する展開。東京時間は米雇用統計の発表を控える中111.40円台を挟んで動意薄の値動き。その後海外時間に発表された米新規失業保険申請件数や失業保険継続受給者数が市場予想対比良好な結果になったことを受けて米金利が上昇する中、ドル円は111.50円台まで上昇。また米債務上限問題について短期での上限引き上げの合意がなされたこともリスクオンを後押しした。その後は米株価が高値圏を維持する中、ドル円も底堅い値動きが続き111.60円台でクローズ。

本日のドル/円相場は底堅い展開を予想。本日海外時間には米9月雇用統計の発表を控えている。前回の非農業部門雇用者数は前月比23万5000人増と大幅に純化したものの、今回の市場予想は前月比50万人増となっており、回復するか注目されている。東京時間は動意に乏しい展開を予想するものの、最近雇用関連の指標は比較的良好なものが多く、期待感から底堅い推移となるだろう。米雇用統計が良好な結果となれば再度112円台が視野に入ると考える。

東京	東京時間のドル円は111.41レベルでオープン。コモディティ価格上昇の一服や米国の債務上限引き上げの合意によりリスクオフの円買いは落ち着いたものの、10/8(金)の米雇用統計を前に動意の薄い展開になり、111.46レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、111.46レベルでオープン。ドル円は方向感のない推移。米長期金利に連れた動きで、立ち上がり111.23まで下げるも、堅調な欧州株を背景にした円安も見られ今度は111.52円まで上昇。その後は米長期金利を睨んでのもみ合いとなり111.33レベルでNYに渡った。昼過ぎにECB理事会の議事録が公表されたが、特段の影響はなかった。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は111.33レベルでオープン。朝方は米新規失業保険申請件数、失業保険継続受給者数とともに予想以上に改善したほか、米株高を更新した円売りや米金利上昇を眺めたドル買いが先行し、111.55まで上昇。買い一巡後、111.39まで反落するも、米株高・債券安の流れが続く中、この水準で下げ渋る。また、「シュマー院内総務が、債務上限の短期間引き上げを巡り合意がなされ、本常駐に上院での採決を希望」と報道されたことがリスクオンの流れをサポート。午後は米株が高値圏維持、米長期金利が1.57%を目指す動きを見せる中、ドル円はじりじりと上昇。しかし、明日の米雇用統計待ちのためか、111.65まで上昇に留まり、結局、111.64レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1565レベルでオープン。米金利上昇を受けてドルが買われていたが、株式市場の堅調推移を受けてユーロ円が買われていたことから連れ高となり、1.1569まで上昇。午後に入ると米株の上昇は一段落するも、米金利は上昇を続けていたためか、ドル買い優勢の展開となり1.1548まで反落。結局、1.1554レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大谷・逸見